

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2002-214721(P2002-214721A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-12436(P2001-12436)

【国際特許分類】

G 03 B	27/50	(2006.01)
H 04 N	1/04	(2006.01)
H 04 N	1/10	(2006.01)
H 04 N	1/107	(2006.01)

【F I】

G 03 B	27/50	A
H 04 N	1/04	1 0 5
H 04 N	1/10	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿を主走査方向に線状に照明する光源手段を少なくとも有する光源ユニットと、副走査方向に移動可能に設けられ、前記光源ユニットが取付けられる筐体と、前記筐体に固定されるとともに該筐体を副走査方向に導くガイド軸に移動可能に取付けられて、該筐体を副走査方向に移動可能にする軸受け部材と、を備え、前記光源手段により照らされた原稿の画像情報を読み取る画像読み取り装置において、前記軸受け部材に対して組み付け角度を調整されて組み付けられるとともに、前記筐体に対して位置決めされて組み付けられ、該筐体と該軸受け部材とを接続する接続部材を備え、前記接続部材は、前記ガイド軸に対して前記光源ユニットの主走査方向が直交する位置をとるように治具によって前記軸受け部材に組み付けられることを特徴とする画像読み取り装置。

【請求項2】

読み取られる原稿と前記光源手段との間に設けられる原稿台を取り外した状態において、前記接続部材と前記軸受け部材とを組み付ける組み付け機構は、前記筐体と前記接続部材とを組み付ける組み付け機構の解放後ののみ解放可能な位置に設けられることを特徴とする請求項1に記載の画像読み取り装置。

【請求項3】

読み取られる原稿と前記光源手段との間に設けられる原稿台を取り外した状態において、前記筐体と前記接続部材とを組み付ける組み付け機構は前記接続部材に対して前記原稿台側から解放可能に設けられ、前記接続部材と前記軸受け部材とを組み付ける組み付け機構は前記接続部材に対して前記原稿台の反対側から解放可能に設けられることを特徴とする請求項1または2に記載の画像読み取り装置。

【請求項4】

前記筐体と前記接続部材とを組み付ける組み付け機構とは、前記接続部材に対して前記原稿台側からビス部材により締結されるものであり、

前記接続部材と前記軸受け部材とを組み付ける組み付け機構とは、前記接続部材に対して前記原稿台の反対側からビス部材により締結されるものであることを特徴とする請求項3に記載の画像読取装置。

【請求項5】

前記軸受け部材は、前記光源ユニットを位置決めする位置決め部を備えることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像読取装置。

【請求項6】

前記光源手段は、発光素子と、該発光素子の光を原稿へと導く導光体と、を有し、
前記光源ユニットは、

前記光源手段と、

前記光源手段により照らされた原稿の反射光を結像する結像手段と、

前記結像手段により結像された前記反射光を入射させて原稿の画像情報を読取る光電変換手段と、を備え、それらを収納する前記筐体とからなることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の画像読取装置。

【請求項7】

請求項1乃至6のいずれか1項に記載の画像読取装置と、
前記画像読取装置により読取られた画像情報を記録媒体に形成する画像形成手段と、
を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

原稿を主走査方向に線状に照明する光源手段を少なくとも有する光源ユニットと、
副走査方向に移動可能に設けられ、前記光源ユニットが取付けられる筐体と、
前記筐体に固定されるとともに該筐体を副走査方向に導くガイド軸に移動可能に取付け
られて、該筐体を副走査方向に移動可能にする軸受け部材と、
を備え、前記光源手段により照らされた原稿の画像情報を読取る画像読取装置において、

前記軸受け部材に対して組み付け角度を調整されて組み付けられるとともに、前記筐体
に対して位置決めされて組み付けられ、該筐体と該軸受け部材とを接続する接続部材を備
え、

前記接続部材は、前記ガイド軸に対して前記光源ユニットの主走査方向が直交する位置
をとるように治具によって前記軸受け部材に組み付けられることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

前記光源手段は、発光素子と、該発光素子の光を原稿へと導く導光体と、を有し、
前記光源ユニットは、

前記光源手段と、

前記光源手段により照らされた原稿の反射光を結像する結像手段と、
前記結像手段により結像された前記反射光を入射させて原稿の画像情報を読み取る光電変換
手段と、を備え、それらを収納する前記筐体とからなることも好適である。